

学校 番号	23	学校名	更級農業高等学校
----------	----	-----	----------

令和2年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和2年6月16日（火）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- ・ 授業参観
- ・ 学校長挨拶
- ・ 学校よりの報告（学校の現状等・学校評価・生徒指導・進路指導・生徒会活動・農業教育・高校改革～夢に挑戦する学び～について）
- ・ 意見交換

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・ 学校評議員会に先立ち普通科および専門教科の授業を公開し、学校の様子や教育内容等を知っていただく機会を設けた。
- ・ 意見交換の時間を増やすため、学校からの説明を簡略にするよう努めた。
- ・ 「学びの改革」に関連して現在の動きと今後の予定及び本校の現状等について学校長から説明し、本校への期待や将来のビジョンに関するご意見をいただくようお願いした。
- ・ 県立学校再開ガイドラインの一部を示すと共に、現在実施している感染防止対策の状況を見ていただき、今後へのアドバイスをお願いした。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・ コロナ感染症による臨時休業は、農業にとって播種や定植等大切な時期と重なった。授業再開後の今、こうして実習ができるのは、休業期間中に職員が作業を担い、準備を進めてくれたおかげである。今回の臨時休業に係わり、生き物を扱う農業高校の特殊性を考えると、県などから手厚い支援が望まれる。
- ・ 昨年は台風19号の影響で、文化祭の規模をかなり縮小したこともあり、生徒たちは、今年の文化祭をとっても楽しみにしている。今年は、コロナ禍で文化祭が開催が危ぶまれているが、ぜひ実施して欲しい。全校が体育館に集まったり、大勢の生徒によるステージ発表は、感染防止の観点から行えないことが考えられる。加えて、今年は就職採用試験の日程が変更となったことにより、現在予定している文化祭日程とバッティングしてしまったので実施時期についても変更を余儀なくされている。今後、皆で知恵を絞り工夫をしながら、密対策や実施内容について検討を進める。
- ・ 生徒会を中心とした、新型コロナウイルス感染症に係わる「いじめ撲滅宣言」の活動は、医療従事者からすると、大変ありがたいと感じている。現在この地域では、感染症に係わる誹謗・中傷などはないが、こうした取り組みはとても大切である。学校としては、状況に応じて考え、判断し、行動できる生徒の育成につなげたい。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・ 医療従事者の立場から、文化祭や日常生活の考え方について、新型コロナウイルス感染症の治療方法が確立しない限り「元に戻すのではなく、より新しい方法で行う」ことが求められるとアドバイスをいただいた。今後、文化祭や諸行事等のあり方を考える指針となった。
- ・ 今回の臨時休校中に、家庭学習支援として行った授業動画の配信などにより、ICT機器の活用について校内で一定のノウハウが得られた。ICTに係わるスキルは、今後の授業での活用や、コロナ第2波で休校となった時の対応につながると考えられる。一方で農業科では、その季節ごとの仕事があり、実習を支えるうえで、今後再び休校となった時の対応策について、あらかじめ検討しておく必要がある。